

21世紀 出雲の國づくり計画

～ “むすんでひらく” 悠久のロマンと夢育む
日本のふるさと出雲の國づくり～

平成17年3月～平成27年3月
[2005.3～2015.3]

出雲地区合併協議会



～ 出雲の國によせて ～

出雲の國は、北に屏風のごとき山塊により形づくられた造形美あふれる半島部と山陰有数の平野部と南部に広がる緑豊かな森林部で構成され、古より神話の舞台として登場してきた地域です。

特に、中国山地に連なる南部の森林に湛えられた水は、斐伊川、神戸川という山陰でも有数の河川により平野をつくり、宍道湖、神西湖や日本海に注ぎ、豊かな汽水域、豊かな海を育んでいます。また、肥沃に広がる平野部では、農業をはじめ様々な産業が形成されており、自然の恵み、地の利を享受してきた地域共同体として、まさに海あり山あり川あり野ありの、ひとつの國の体をなしています。

このように、古からの『縁』に結ばれ、大地創造の物語とロマンあふれる出雲の國。

この出雲のちからを再結集し、みなぎらせ、國つくりの神話が新話として今に蘇る「平成の出雲の國つくり」を進めます。

出雲の國づくり大綱

この大綱は、新市建設にあたって、住民を主役とした住民参加のまちづくりを基本とする行政のあり方を示し、住民と行政の連携協力により、新市の一体的な発展を目指すものであります。

このため、新市においては、合併協議で合意した「21世紀出雲の國づくり計画」及び「合併協定項目」を尊重・継承するとともに、この大綱を基にまちづくり条例を制定し、地域の特性と魅力を活かした新市全域の均衡ある一体的・総合的発展を期して、“自立”と“自治”のまちづくりを推進します。

[住民が主役のまちづくり]

住民が政策決定に参画する開かれた行政システムを構築するとともに、住民と行政双方がそれぞれの役割と責任のもと協働のまちづくりを進めます。

情報公開と広報広聴機能の充実に努め、住民、行政、議会が一体となり公正、透明なまちづくりを進めます。

新市の自治行政と各地域住民の自治活動の一体的な推進を図ります。

[地域特性が光るまちづくり]

地域の伝統文化や諸活動を継承・発展させ、地域の特性と魅力が輝くまちづくりを進めます。

地域の共生と交流を促進し、多核的な結合と多面的な連携により、新市の総合力を最大限に発揮するネットワーク都市の形成を目指します。

[地方分権時代に対応するまちづくり]

行政組織・事務のスリム化、民間委託など徹底した行財政改革に取り組み、簡素で効率的、長期的に安定した行財政運営を進めます。

多様化、高度化する行政需要に対応すべく、産業経済の発展によって財政基盤の強化を図りつつ、歳出全般にわたる削減と重点配分及び適正な受益と負担のもと行政サービス水準の確保に努めます。

地方分権時代に対応した自立する自治体づくりを目指し、自己決定・自己責任を基本に住民の意識改革を図り、住民と行政が一体となった行財政運営に努めます。

21世紀 出雲の國づくり計画策定方針

1. 計画の趣旨

本計画は、出雲地区2市4町（出雲市・平田市・佐田町・多伎町・湖陵町・大社町）の合併後の新市の建設を総合的かつ効果的に推進することを目的とし、新市の速やかな総合力発揮の体制確立及び住民福祉の向上、地域の特性を活かした均衡ある発展を図るために策定するものです。

なお、新市の進むべき方向についてのより詳細で具体的な内容については、本計画に基づいて策定される新市の基本構想、基本計画、実施計画において定めるものとします。

2. 計画の策定

本計画は、新市の建設を進めていくための「基本方針」、基本方針実現のための「主要施策」、新市の方向性を示す「重点プロジェクト」、「公共的施設についての考え方」及び「財政計画」を中心に構成します。

本計画は、新市の速やかな総合力の発揮、地域全体のレベルアップを実現し、地域住民の生活水準、文化水準の向上を目指して策定します。

本計画は、合併関係市町の基本計画、基本構想の理念、施策を十分検討しつつ、新市の広い視点に立って策定します。

本計画は、昨今の厳しい地方財政事情を踏まえ、合併効果を最大限に発揮した計画として、ソフト、ハードの事業を盛り込みながら、長期的視点に立って策定します。

財政計画は、地方交付税、国や県の補助金、地方債等の依存財源を過大に見積もることなく、合併による行政経費の縮減等による財源確保に加え、合併特例債の活用等により財源の充実を図りつつ、新市建設に対応できる安定的な財政運営を行えるよう策定します。

本計画は、各市町の広報、インターネットによるホームページ、住民説明会の開催、住民意識の把握、住民参加の促進など、住民との対話に努めながら策定します。

3. 計画の期間

本計画の期間は、合併期日の属する年度及びこれに続く10か年とします。

21世紀 出雲の國づくり計画

～ “むすんでひらく” 悠久のロマンと夢育む
日本のふるさと出雲の國づくり～

21世紀 出雲の國づくり計画 目次

出雲の國づくり大綱

・ 合併の必要性と社会的背景	1
1. 生活圏の一体化とさらなる発展	
2. 多様で高度な行政サービスの提供	
3. 地方自治体の自立	
・ 新市の課題	2
1. 地域の現状	
2. 住民意向	
・ 日本のふるさと出雲の國づくり基本方針	3
1. 基本理念	4
自立 【人と地域が輝く出雲の國】	
交流 【人と地域を結ぶ出雲の國】	
環境 【人と地域に優しい出雲の國】	
2. 基本目標	5
まちが輝き地域を興す産業創造都市	
夢を育み未来をひらく人材育成都市	
人を結び地域を結ぶ交流拠点都市	
歴史文化が織りなす観光神話都市	
潤いとやすらぎが生まれる環境先進都市	
健やかな暮らしを支える健康文化都市	
・ 新市の施策	
1. 重点プロジェクト - ステップアップ出雲 -	6
(1) パワーアップ出雲 ~ 出雲のちから ~	
世界にはばたく新産業創出 【新産業創出プロジェクト】	
世界につながる交通ネットワーク 【交通回廊プロジェクト】	
世界にひらく新市都市空間 【都づくりプロジェクト】	
(2) スケールアップ出雲 ~ 出雲のこころ ~	
世界に誇る神話舞台・歴史空間 【観光回遊プロジェクト】	
世界につたえる出雲の心 【出雲の國ブランドプロジェクト】	
(3) グレードアップ出雲 ~ 出雲のやさしさ ~	
世界が注目する最先端の環境空間 【ふるさとさわやかプロジェクト】	
世界にひとつだけのふるさとづくり 【ふるさとすこやかプロジェクト】	
2. 主要施策	9
(1) まちが輝き地域を興す産業創造都市	
(2) 夢を育み未来をひらく人材育成都市	
(3) 人を結び地域を結ぶ交流拠点都市	
(4) 歴史文化が織りなす観光神話都市	
(5) 潤いとやすらぎが生まれる環境先進都市	
(6) 健やかな暮らしを支える健康文化都市	

・新市の都市創造方針	
1. 地域別整備の方針24
出雲地域 ~ 産業・医療・福祉中核拠点、科学・文化の交流拠点 ~	
平田地域 ~ 良好な住環境を備えた、県都を結ぶ副次拠点 ~	
佐田地域 ~ 環境と人にやさしい地域づくりの拠点 ~	
多伎地域 ~ 健康文化拠点、観光・交流拠点 ~	
湖陵地域 ~ 安心して住みたくなる定住拠点 ~	
大社地域 ~ 出雲の國の交流舞台 ~	
2. 交流拠点整備の方針26
(1) 新市の交流拠点となる中心都市機能の充実	
(2) 新市の魅力を発揮する広域交流の推進	
(3) 地域特性と自然環境を活かした日本のふるさとの創造	
(4) 出雲大社を中核とした広域観光拠点の拡充	
3. 出雲の國つくりネットワーク27
(1) 交通ネットワーク	
(2) 自治振興ネットワーク	
(3) 情報ネットワーク	
(4) 産業ネットワーク	
(5) 安心ネットワーク	
・新市の行財政運営方針	
~ 新市行政システムの構築に向けて ~29
1. 住民との連携、協働	
2. 地域自治区	
3. 本庁・支所	
4. 行財政改革の推進	
・新市における県事業の推進32
・実現に向けて取り組む国・県事業35
・公共的施設についての考え方36
・財政計画37
資 料	
1. 新市の概況43
2. 主要指標の見通し47

合併の必要性と社会的背景

1. 生活圏の一体化とさらなる発展

古くから、出雲地域2市4町（出雲市・平田市・佐田町・多伎町・湖陵町・大社町）は強い結びつきを持ち、通勤、通学、買い物といった住民の日常的な生活圏は、行政区域を越えて一体化しています。また、この地域は海、山、河川、湖など多様な自然環境に恵まれているほか、港湾機能、農業、商工業、観光、保養等の機能が集積し、空港にも隣接するなど、自然と都市基盤がバランスよく調和した高い発展の可能性を持っています。

この地域が合併により、それぞれの地域特性を活かしながら、共通の目標に向かい総合的なまちづくりを推進することによって、大きく飛躍していくことが期待されています。

2. 多様で高度な行政サービスの提供

少子高齢化、情報化等の進展に伴い、住民の価値観やライフスタイルも変容し、行政に対する要望も多様化、高度化しており、これからの地方自治体には質的・量的なサービスの向上が求められています。

これに対応するためには、総合的な施策の展開、専門職員の育成・配置による行政能力の向上が必要ですが、小規模な自治体では対応に限界があります。

合併によって、総合的な施策を効率的に展開し、より専門的な行政ニーズへの対応が可能になり、多様で高度な行政サービスの提供が期待できます。

3. 地方自治体の自立

長期にわたる景気低迷等の影響を受け、地方自治体の財政は厳しい状況におかれています。国や県においても同様の財政事情にあり、従来どおりの手厚い財政支援は望めない状況になっています。さらに、地方分権時代を迎えて、国・県からの権限委譲が増える中で、地方自治体は、主体的な判断と自己責任のもとに自立した地域経営を行っていくことが強く求められています。

そのためには、合併によって、行政組織のスリム化、事務事業の見直し、民間委託の推進等による簡素で効率的な行財政運営と住民との連携協働関係を確立するとともに、地域経済基盤の強化を図ることにより、地方分権時代に対応した自立可能な自治体運営が期待できます。

新市の課題

1. 地域の現状

総人口14万7千人で、微増傾向にあり、県全体人口の19.3%を占めています。農業で県内トップ、工業生産額、商業販売額第2位の経済基盤を持っています。山陰自動車道、河下港、山陰本線など交通、物流の拠点となっています。また、島根と全国を結ぶ空の玄関口出雲空港に隣接しています。島根大学医学部附属病院、県立中央病院、市立病院など県内随一の医療機関群があります。出雲大社をはじめとする古代出雲文化遺産と海、山、川、湖などの豊かな自然資源を有し、島根を代表する観光地です。半島の海岸部や山間地では、人口減少が進み、集落機能の低下が危惧されています。少子、高齢化が進行しています。

2. 住民意向

望ましいと考えられている新市の将来像は、「高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち」、「商工業、サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち」、「保育所、幼稚園、学校が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち」などです。新市で優先的に取り組むべき施策としては、「高齢者福祉の充実」が最も要望が多く、続いて「工業の振興」、「下水道の整備」、「市と町を結ぶ主要な道路の整備」、「交通安全対策」などに多くの要望が寄せられています。合併に期待することとしては、「広域的な視点からのまちづくり」、「効率的な行財政運営」、「地域の産業や経済活動の活性化」、「行政サービスの高度化、多様化」に対して多くの期待が寄せられています。一方で、「住民の意見が反映されにくくなる」、「中心部と周辺部で格差が生じる」、「きめ細かい行政サービスが受けられなくなる」といった点を懸念する声が寄せられています。

新市の課題

産業の振興と雇用の場の確保
 教育の充実と人づくり支援
 地域活動支援と住民参画の推進
 広域交通網、都市基盤の整備
 古代出雲文化遺産と自然資源の活用・保全
 循環型社会の構築
 地域の文化、自然を活かした安心安全の定住環境整備
 医療と福祉の連携による高度な医療福祉サービスの提供
 少子、高齢化社会への対応
 地域の均衡ある発展
 行財政改革の推進

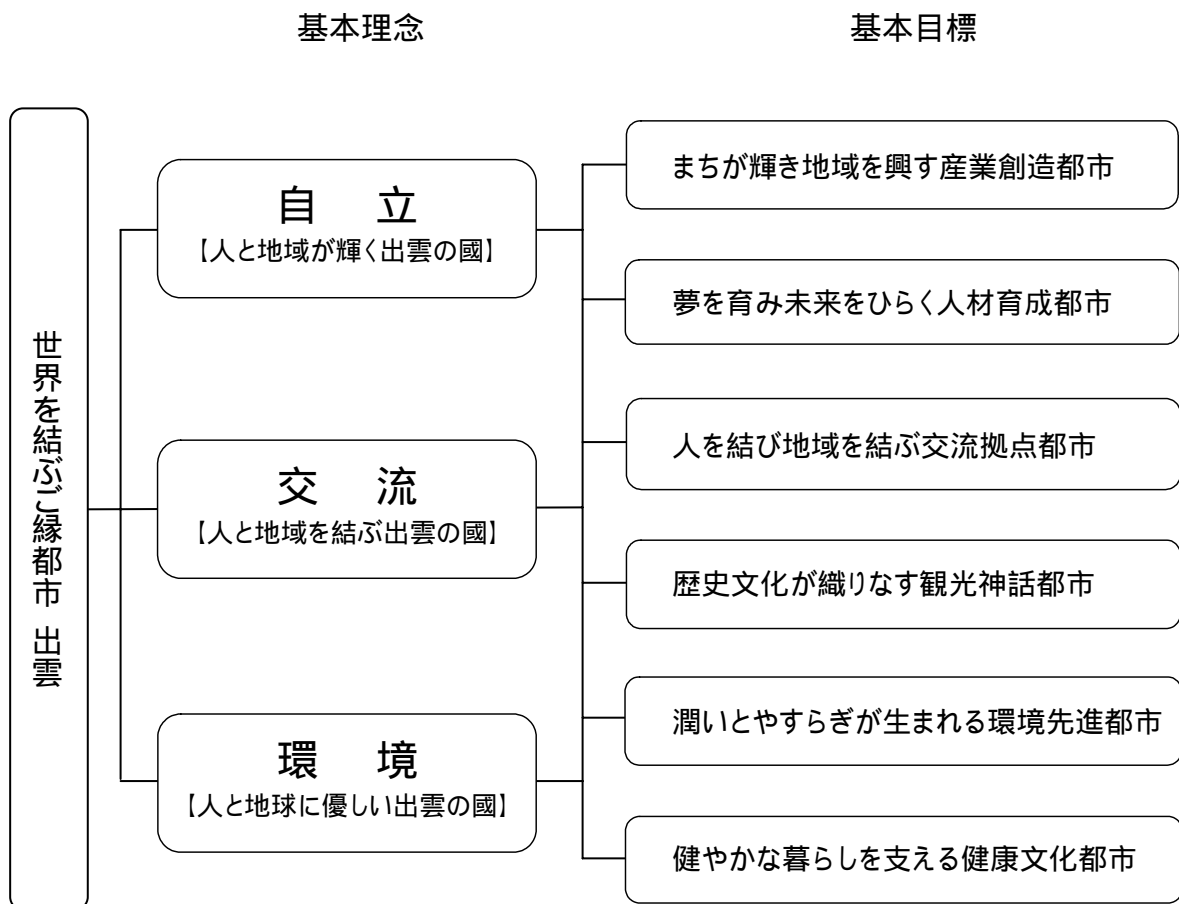
日本のふるさと出雲の国づくり基本方針

～ “むすんでひらく” 悠久のロマンと夢育む 日本のふるさと出雲の国づくり～

出雲地域2市4町は、一つの國の体をなす「神話の國 出雲」として、共通の歴史的、文化的風土にあって、多様で恵まれた自然環境とともに、都市・交通基盤、産業・情報基盤、医療・福祉基盤等を有する極めて高い発展性のある地域共同体です。

この2市4町が、新設合併（対等合併）により、それぞれの地域を結び、総合力を高め、都市としての自立的な発展・成長を促す一方で、質の高い生活環境の実現に努めるとともに、「出雲の国づくり大綱」を指針とした自立と自治のまちづくりを進めます。

このため、新市のまちづくりにおいては、「自立」、「交流」及び「環境」を軸とした3つの基本理念と、それを具体化する6つのまちづくりの基本目標を次のとおり定め、「むすんでひらく” 悠久のロマンと夢育む 日本のふるさと出雲の国づくり」のもと、「世界を結ぶご縁都市 出雲」に邁進します。



1. 基本理念

自 立

【人と地域が輝く出雲の國】

新市は、地方分権時代に対応し機能強化を図るため、産業を充実発展させるとともに、住民と行政の協働による自立と創造を目指し、人と地域が輝く出雲の國づくりを進めます。

交 流

【人と地域を結ぶ出雲の國】

新市は、都市・交通交流機能の整備に努めるとともに、観光文化や産業を中心とした出雲の國ブランドを最大限活かし、人流、物流、情報交流の場として更なる発展を目指し、人と地域を結ぶ出雲の國づくりを進めます。

環 境

【人と地域に優しい出雲の國】

新市の豊かな自然環境と恵まれた地域資源を守り活かしていくために、循環型社会の形成と新エネルギーの創出に努めるとともに、安心安全で住み良い暮らしづくりを目指し、人と地域に優しい出雲の國づくりを進めます。

2. 基本目標

まちが輝き地域を興す産業創造都市

産・学・官連携により、地域特性を活かした農林水産業の生産性向上をはじめ、情報、新エネルギー、福祉、医療などの新産業が融合発展する産業創造都市づくりを進めるとともに、活発な物流により商工業が集積発展しつつ、地域経済力を高める都市機能を持った産業拠点都市の建設を目指します。

夢を育み未来をひらく人材育成都市

歴史、文化、芸術、科学技術、スポーツ、レクリエーション活動を通じて、市民一人ひとりが豊かに自己実現する生涯学習を進めるとともに、夢を育む教育と国際性及び創造性豊かで、人権を尊重する健全な人材を育成する都市の形成を目指します。

人を結び地域を結ぶ交流拠点都市

人流・物流を活発化する陸・海・空の広域交通基盤・高度情報通信基盤を整備し、求心力のある交流拠点都市を形成し、産業、文化など新市の魅力を活かした都市交流、地域間交流を積極的に推進し、地域内及び国内外を結ぶネットワーク都市の構築を目指します。

歴史文化が織りなす観光神話都市

出雲大社をシンボルとする「神話の國 出雲」の貴重で豊富な歴史文化資源を活かした歴史文化都市を形成するとともに、多彩な魅力を結んだ観光交流舞台を整備し、出雲の國ブランドを国内外にアピールする交流人口 1,000 万人の観光神話都市の創造を目指します。

潤いとやすらぎが生まれる環境先進都市

美しい海・山・川・湖などの多様な自然環境を保全し、環境循環システムの徹底や新エネルギーを積極的に開発・導入した環境先進都市を目指すとともに、住宅・下水道等の生活基盤の整備や治水治山など、自然と共生した快適かつ安心安全な生活環境を整備した快適防災都市の建設を目指します。

健やかな暮らしを支える健康文化都市

健康・医療機関群や温泉・健康増進施設などが集積する恵まれた地域特性を活かし、健康長寿社会を実現する健康・医療・福祉ネットワークの充実強化を図り、全国に秀でた健康文化都市の確立を目指します。